

令和4年度 全国学力・学習状況調査



北九州市環境マスコットキャラクター
ていたん & ブラックていたん
©ていたん & ブラックていたん 北九州市

北九州市教育委員会

目 次

令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書

1 学力状況調査結果

- (1) 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果について(概況) ……2
- (2) 学力調査結果(経年推移) ……3

2 各教科結果

- (1) 小学校国語 ……6
- (2) 中学校国語 ……7
- (3) 小学校算数 ……8
- (4) 中学校数学 ……9
- (5) 小学校理科 ……10
- (6) 中学校理科 ……11

3 学習状況調査結果

- (1) 学習状況調査結果 ……14
- (2) 学びの育ち ……16
- (3) 心の育ち ……21

4 今後の取組 ……26

- * 学力に影響を与える要因 ……27

1 学力状況調査結果



(1) 令和4年度全国学力・学習状況調査結果(概況)

1 実施学年・調査内容

- ◇ 実施学年 市立の全小学校(128校)・関係特別支援学校(1校) 第6学年
市立の全中学校(62校)・関係特別支援学校(2校) 第3学年
- ◇ 調査内容 ① 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 調査集計者数 児童数 7,105人 生徒数 6,737人

3 調査日 令和4年4月19日(火)

主な結果

令和4年度	小学校 国語		小学校 算数		小学校 理科	
	正答数	割合	正答数	割合	正答数	割合
本市平均	8.9 / 14 問	97%	9.8 / 16 問	97%	10.4 / 17 問	97%
全国平均	9.2 / 14 問		10.1 / 16 問		10.8 / 17 問	
令和4年度	中学校 国語		中学校 数学		中学校 理科	
	正答数	割合	正答数	割合	正答数	割合
本市平均	9.3 / 14 問	96%	6.6 / 14 問	92%	9.8 / 21 問	95%
全国平均	9.7 / 14 問		7.2 / 14 問		10.4 / 21 問	

「割合」…全国平均正答率に対する本市の平均正答率の割合

【結果1(小学校)】

- 思考・判断・表現の正答率に改善が見られる。
(算数「思考・判断・表現」問題 R3全国比-1.8ポイント → R4全国比-0.4ポイントに改善 など)
- 知識・技能の問題に課題が見られる。
(国語「知識・技能」問題 全国比-2.7ポイント、理科「知識・技能」問題 全国比-2.5ポイント など)

【結果2(中学校)】

- 思考・判断・表現の正答率が一部全国平均と同程度だが、全体的には課題が見られる。
(国語「自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書く問題」 全国平均と同じ)
- 知識・技能の問題に課題が見られる。
(数学「簡単な連立方程式を解く問題」 全国比-8.5ポイント など)

【結果3(児童生徒質問紙)】

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」が、小・中ともに前年度よりも上昇している。
(小学校前年度比+4.3ポイント、中学校前年度比+1.5ポイント)
- 「自分には、よいところがあると思いますか」が、小・中ともに前年度よりも上昇している。
(小学校前年度比+0.2ポイント、中学校前年度比+2.5ポイント)
- 全く読書をしていない児童生徒(不読率)が、小・中ともに前年度に引き続き全国を下回っている。
(不読率 小学校全国比-4.9ポイント、中学校全国比-10.5ポイント)
- 「授業時間以外に、1日どれくらい勉強しますか」が、小・中ともに全国を下回っている。
(「1時間以上」小学校全国比-6.2ポイント、中学校全国比-8.1ポイント)
- 「昨年度までの授業でICT機器をどの程度使用しましたか」が、小・中ともに全国を下回っている。
(「週1回以上」小学校全国比-8.8ポイント、中学校全国比-10.5ポイント)

【考察及び今後の方向性】

- コロナ禍においても、各学校が創意工夫して授業や行事等を実施した成果が表れている。
 - ・ 授業改善や心の育ち等について、学校として組織的な取組の推進
 - ・ 「わかる授業」づくり5つのポイントの質の向上、及びICTの活用推進
 - ・ ウィズコロナにおける学校行事の精選と工夫の推進
- 「知識及び技能」の定着に課題が見られる。
 - ・ ICT機器(ドリルアプリ)の積極的な活用、及び本市研究委嘱校の実践事例の研究と発信
- 「身近に本、気軽に読書」のもと、読書活動の推進に取り組んできた成果が表れている。
 - ・ 学校図書館の学習センター・情報センターとしての機能の充実、及び公共図書館との連携の推進

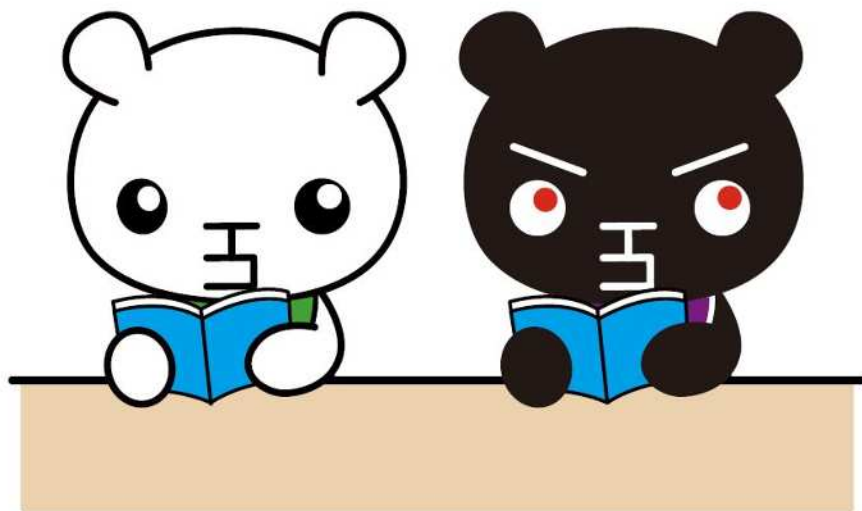
(2) 学力調査結果(経年推移) ※各教科

■ 各教科における本市と全国の平均正答率及び本市の全国平均正答率に対する割合(平成26年度～令和4年度)

小学校							中学校									
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	合計		国語A	国語B	数学A	数学B	理科	英語	合計		
H26 年度	本市	69	53	76	55		253	H26 年度	本市	77	48	62	54		242	
	全国	73	56	78	58		265		全国	79	51	67	60		258	
	対全国比	95%	95%	98%	95%		96%		対全国比	97%	93%	93%	91%		94%	
H27 年度	本市	67	62	73	44	57	303	H27 年度	本市	74	63	62	38	50	287	
	全国	70	65	75	45	61	316		全国	76	66	64	42	53	301	
	対全国比	96%	95%	98%	97%	95%	96%		対全国比	97%	96%	96%	91%	94%	95%	
H28 年度	本市	70	56	76	45		246	H28 年度	本市	74	64	59	41		237	
	全国	73	58	78	47		256		全国	76	67	62	44		248	
	対全国比	96%	96%	98%	95%		96%		対全国比	97%	96%	95%	93%		96%	
H29 年度	本市	74	57	77	44		252	H29 年度	本市	77	70	62	45		254	
	全国	75	58	79	46		257		全国	77	72	65	48		262	
	対全国比	98%	99%	98%	97%		98%		対全国比	99%	98%	95%	94%		97%	
H30 年度	本市	71	54	61	50	60	296	H30 年度	本市	75	60	63	44	64	306	
	全国	71	55	64	52	60	301		全国	76	61	66	47	66	316	
	対全国比	101%	99%	96%	96%	99%	98%		対全国比	99%	99%	95%	93%	97%	97%	
H31 年度	本市	65		64			129	H31 年度	本市	69		56			51	176
	全国	64		67			131		全国	73		60			56	189
	対全国比	102%		96%			98%		対全国比	95%		93%			91%	93%
R3 年度	本市	63		69			132	R3 年度	本市	63		55				118
	全国	65		70			135		全国	65		57				122
	対全国比	97%		98%			98%		対全国比	97%		96%				97%
R4 年度	本市	64		61		61	186	R4 年度	本市	66		47		47		160
	全国	66		63		63	192		全国	69		51		49		169
	対全国比	97%		97%		97%	97%		対全国比	96%		92%		95%		94%

※ 正答率と対全国比は詳細な数値で計算をしているが、表記は小数第一位を四捨五入し整数値にしている。
 ※ H24年度は、抽出調査及び希望調査利用方式で実施された。本市では全小・中学校・関係特別支援学校で実施。
 ※ H31年度より従来のA問題(知識・技能等)とB問題(活用等)という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題としている。
 ※ R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、未実施。

2 各教科結果



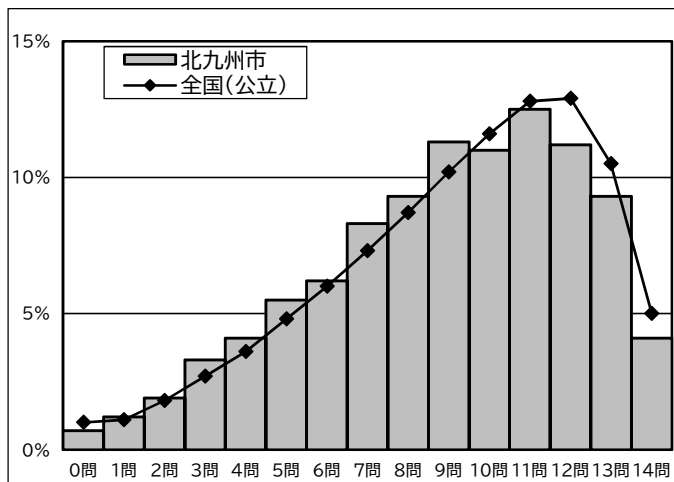
(1) 小学校 国語

令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果 [小学校 国語]

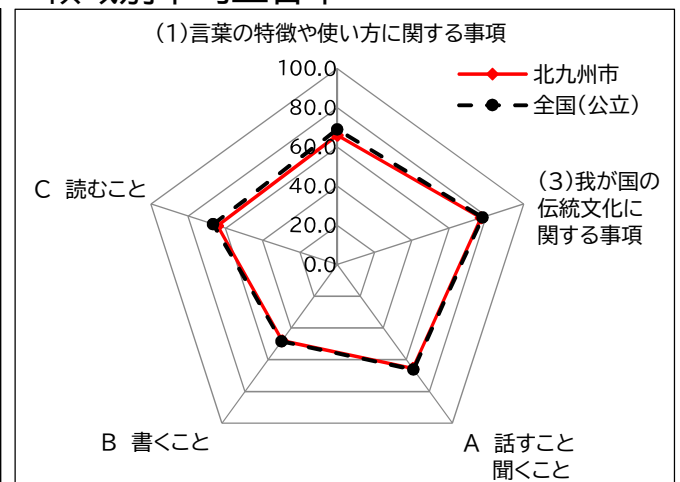
<集計値>

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
北九州市教育委員会	7,105	8.9 /14	64	9.0	3.2
全国(公立)	965,308	9.2 /14	66	10.0	3.3

<正答数分布グラフ>

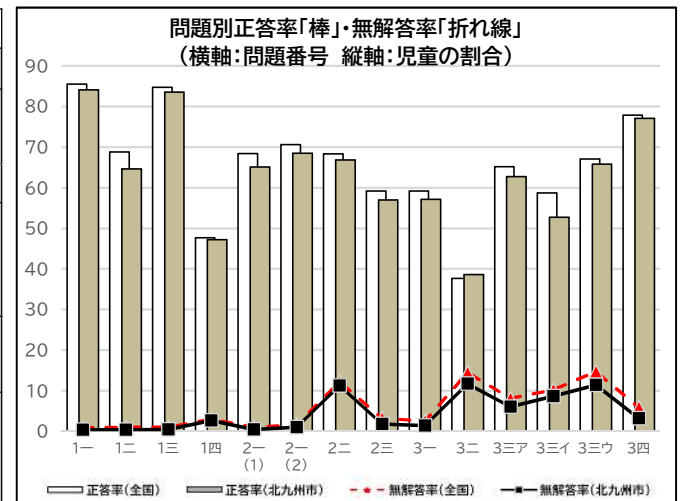


<領域別平均正答率>



<区分別平均正答率の状況>

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			北九州市	全国(公立)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	66.0	69.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0		
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	77.1	77.9
	思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	2	65.4	66.2
		B 書くこと	2	47.9	48.5
		C 読むこと	4	64.3	66.6
評価の観点	知識・技能	6	67.8	70.5	
	思考・判断・表現	8	60.5	62.0	
問題形式	選択式	8	69.6	71.8	
	短答式	3	60.4	63.6	
	記述式	3	50.9	51.3	



<課題の見られた問題>

- 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる問題。
【問題2一(1)正答率 全国68.4% → 本市65.1%】

<課題改善に向けて>

【授業改善の視点】

登場人物の気持ちを捉える場面では、児童が複数の叙述に着目することができるように、捉えたことと、基にした叙述について交流する活動を意図的に設定する。

【補充的な取組】

必要に応じてICT機器を活用するなど、補充的な学習に取り組む時間を設定し、「個別最適な学び」を充実する。

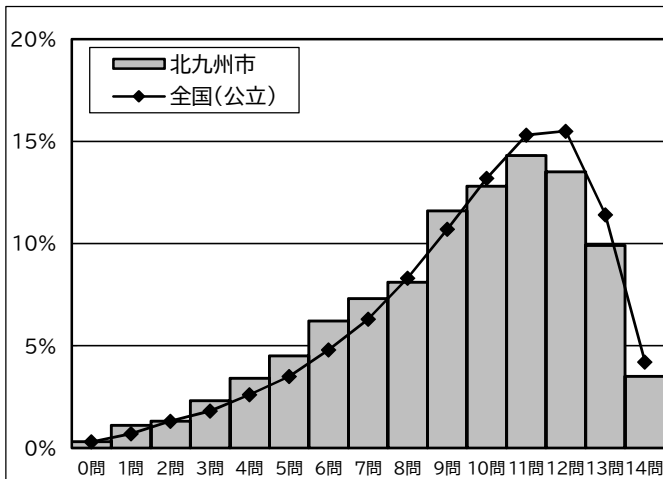
(2) 中学校 国語

令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果 [中学校 国語]

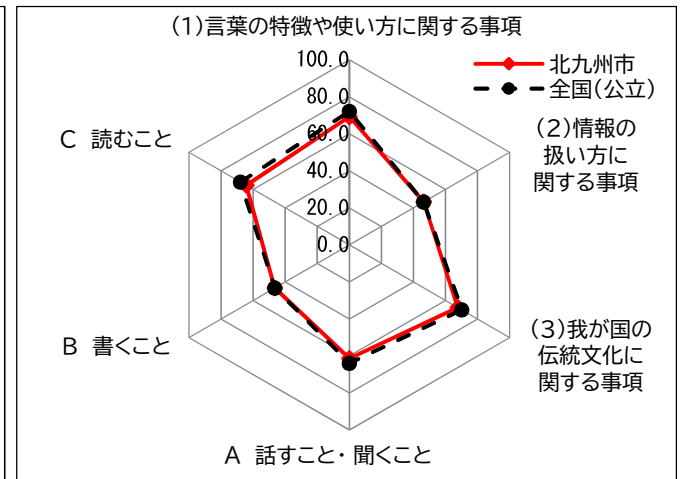
<集計値>

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
北九州市教育委員会	6,729	9.3 / 14	66	10.0	3.0
全国(公立)	891,820	9.7 / 14	69	10.0	2.9

<正答数分布グラフ>

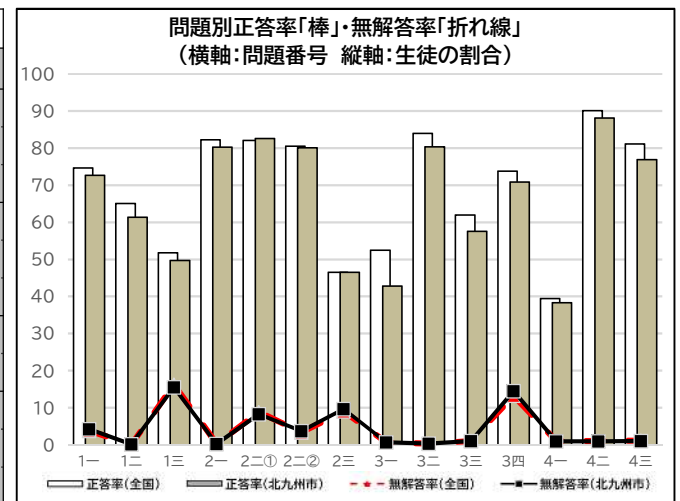


<領域別平均正答率>



<区分別平均正答率の状況>

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			北九州市	全国(公立)
学習指導要領の内容	知識及び技能			
	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	6	69.3	72.2
	(2) 情報の扱い方に関する事項	1	46.5	46.5
思考力, 判断力, 表現力等	(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	67.7	70.2
	A 話すこと・聞くこと	3	61.3	63.9
	B 書くこと	1	46.5	46.5
評価の観点	C 読むこと	2	64.3	67.9
	知識・技能	10	66.6	69.0
	思考・判断・表現	6	59.8	62.3
問題形式	選択式	6	70.9	73.7
	短答式	5	67.2	70.3
	記述式	3	55.7	57.4



<課題の見られた問題>

- 表現の技法について理解しているかどうかをみる問題。
【問題3一 正答率 全国52.5%→本市42.8%】

<課題改善に向けて>

【授業改善の視点】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの学習の中で、表現の技法を取り上げたり、話や文章の中で使わせたりして、関連付けた指導をする。

【補充的な取組】

俳句や短歌、詩や小説のほか、歌の歌詞や人との会話などから見聞きした表現の技法を、種類ごとに分類し、それぞれの表現の仕方や効果の違いについて考えたりまとめたりする。

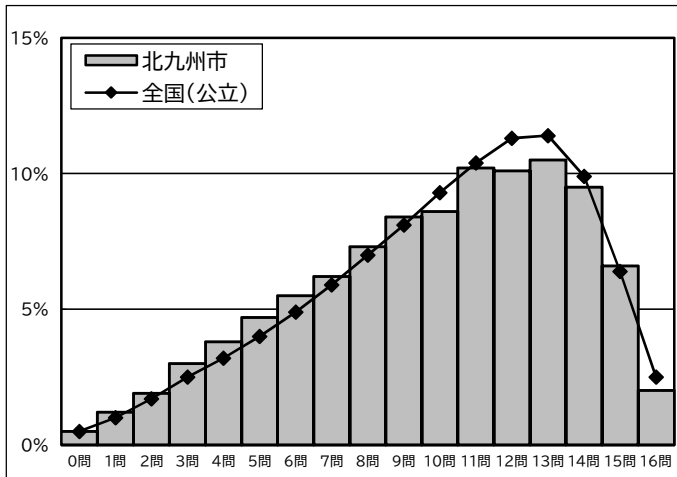
(3) 小学校 算数

令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果 [小学校 算数]

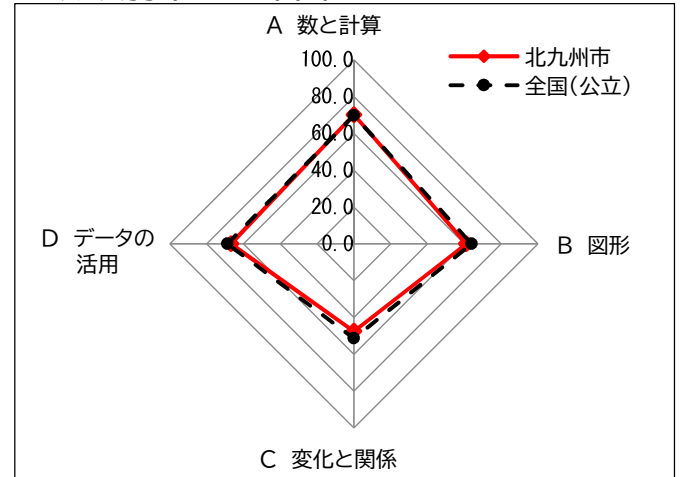
<集計値>

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
北九州市教育委員会	7,096	9.8 / 16	61	10.0	3.7
全国(公立)	965,431	10.1 / 16	63	11.0	3.6

<正答数分布グラフ>

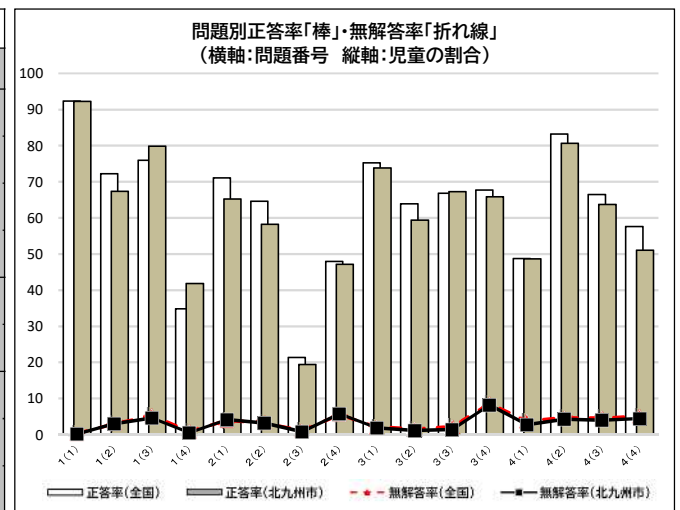


<領域別平均正答率>



<区分別平均正答率の状況>

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
			北九州市	全国 (公立)
学習指導要領 の領域	A 数と計算	6	70.2	69.8
	B 図形	4	61.1	64.0
	C 変化と関係	4	47.5	51.3
	D データの活用	3	66.8	68.7
評価の観点	知識・技能	9	65.3	68.2
	思考・判断・表現	7	56.3	56.7
問題形式	選択式	6	50.5	51.8
	短答式	6	72.9	76.5
	記述式	4	60.4	60.2



<課題のみられた問題>

- 百分率で表された割合について、「分数で表す」「比較量を求める」ことができるかどうかをみる問題。
【問題2(1)正答率 全国71.1% → 本市65.2% 問題2(2)正答率 全国64.6% → 本市58.2%】

<課題改善に向けて>

【授業改善の視点】

児童に、日常生活の場面を想定させながら割合について理解させたり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるように指導する。

【補足的な取組】

授業の終末や自主学習等で、練習問題に取り組む時間を確保して、学習内容の定着を図る。

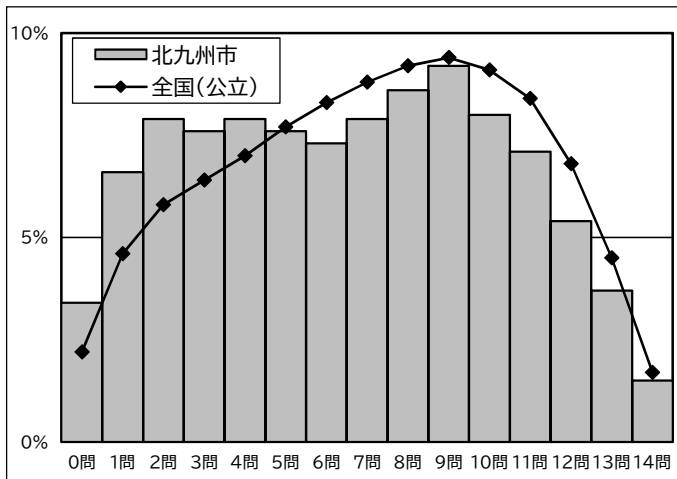
(4) 中学校 数学

令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果 [中学校 数学]

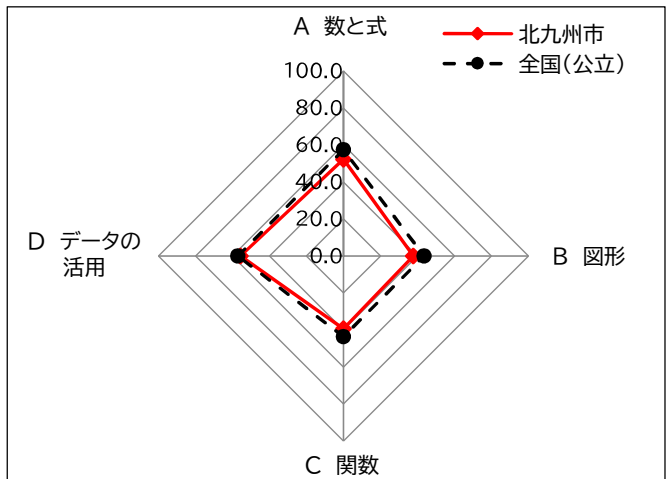
<集計値>

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
北九州市教育委員会	6,733	6.6 /14	47	7.0	3.7
全国(公立)	891,913	7.2 /14	51	7.0	3.6

<正答数分布グラフ>

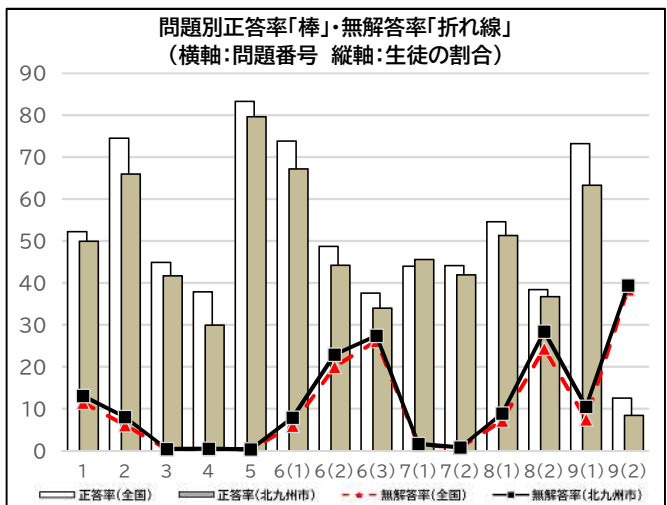


<領域別平均正答率>



<区分別平均正答率の状況>

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			北九州市	全国(公立)
学習指導要領の領域	A 数と式	5	52.3	57.4
	B 図形	3	37.8	43.6
	C 関数	3	39.3	43.6
	D データの活用	3	55.7	57.1
評価の観点	知識・技能	9	54.5	59.9
	思考・判断・表現	5	33.8	36.2
問題形式	選択式	4	48.3	52.6
	短答式	5	59.5	65.7
	記述式	5	33.8	36.2



<課題の見られた問題>

- 簡単な連立二元一次方程式を解くことができるかどうかをみる問題。
【問題2の正答率 全国74.5% → 本市66.0%】

<課題改善に向けて>

【授業改善の視点】

連立方程式を解く際、加減法や代入法、どちらの方法も一元一次方程式に帰着させて解くという考えに生徒自らが気付くように、解き方を比較しながら指導する。

【補足的な取組】

「知識・技能」の定着に向け、ドリルアプリ等を活用し、補充学習の充実を図る。

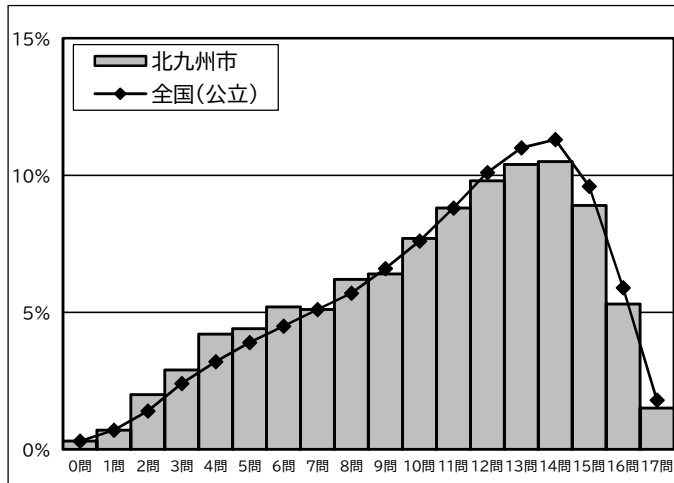
(5) 小学校 理科

令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果 [小学校 理科]

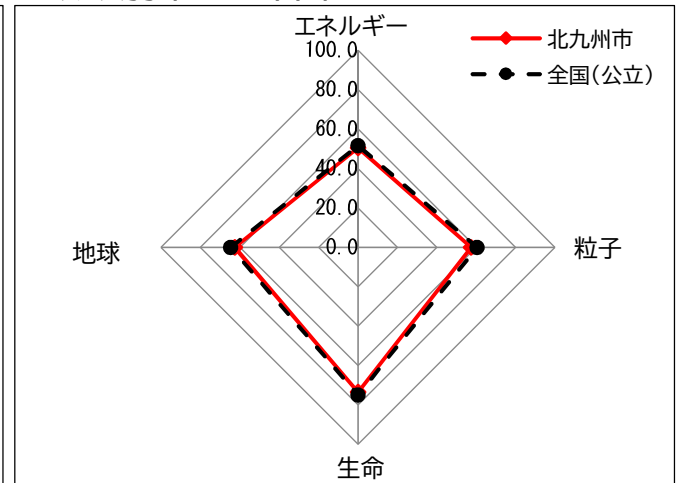
<集計値>

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
北九州市教育委員会	7,097	10.4 / 17	61	11.0	3.9
全国(公立)	965,761	10.8 / 17	63	11.0	3.8

<正答数分布グラフ>

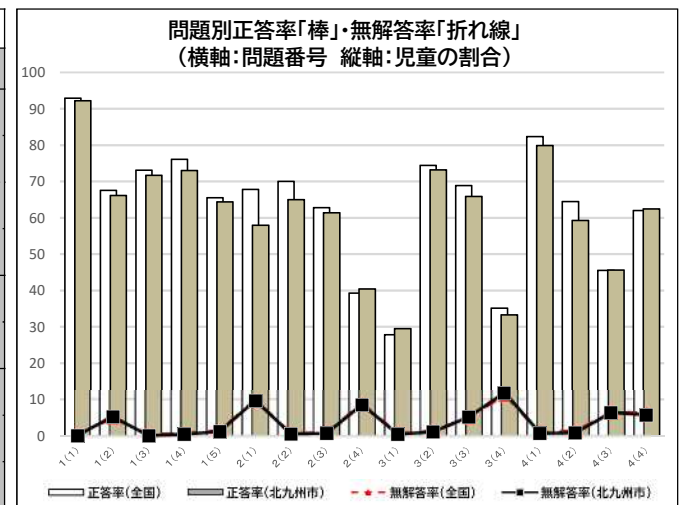


<領域別平均正答率>



<区分別平均正答率の状況>

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			北九州市	全国(公立)
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	4	50.5	51.6
	「粒子」を柱とする領域	5	57.4	60.4
	「生命」を柱とする領域	5	73.5	75.0
	「地球」を柱とする領域	5	62.6	64.6
評価の観点	知識・技能	6	60.0	62.5
	思考・判断・表現	11	61.9	63.7
問題形式	選択式	11	65.0	66.8
	短答式	3	62.0	66.2
	記述式	3	46.6	47.3



<課題の見られた問題>

- 実験器具(メスシリンダー)を理解し、器具の正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる問題。
【問題2(1)正答率 全国67.8% → 本市57.9% 問題2(2)正答率 全国70.0% → 本市65.0%】

<課題改善に向けて>

【授業改善の視点】

観察、実験の技能が身に付くように、器具や機器の操作手順とあわせて、考えることができるように指導する。また、意図的に、児童に実験器具や機器を目的に応じて選択させるような場面を設定する。

【補充的な取組】

理科室掲示や保管場所に器具の名称を示すなど、児童が目にする機会を増やすなどの工夫を行う。

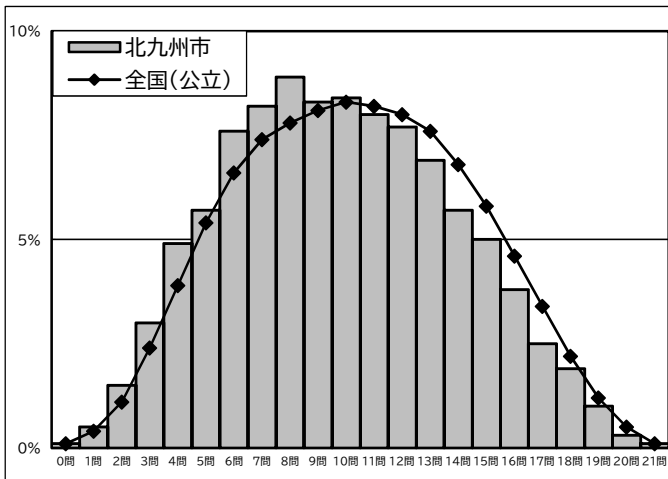
(6) 中学校 理科

令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果 [中学校 理科]

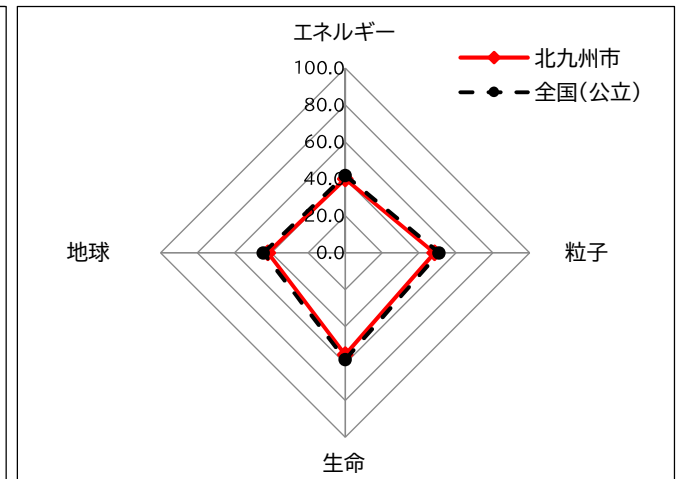
<集計値>

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
北九州市教育委員会	6,737	9.8 /21	47	10.0	4.1
全国(公立)	892,585	10.4 /21	49	10.0	4.1

<正答数分布グラフ>

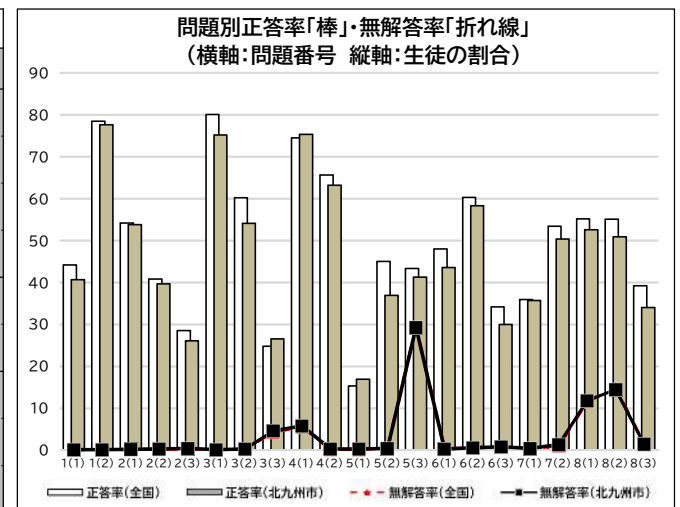


<領域別平均正答率>



<区分別平均正答率の状況>

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			北九州市	全国(公立)
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	6	40.0	41.9
	「粒子」を柱とする領域	5	48.4	50.9
	「生命」を柱とする領域	5	55.2	57.9
	「地球」を柱とする領域	6	41.9	44.3
評価の観点	知識・技能	7	43.2	46.1
	思考・判断・表現	14	48.6	51.0
問題形式	選択式	15	46.8	49.6
	短答式	1	26.5	24.8
	記述式	5	50.8	53.5



<課題の見られた問題>

- 考察の妥当性を高めるために、実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる問題。
【問題5(3)正答率 全国43.3% → 本市41.3% 問題2(3)正答率 全国28.5% → 本市26.1%】

<課題改善に向けて>

【授業改善の視点】

実験結果の処理について振り返りを行い、実験の計画を検討して改善を図るようにする。また、予想を立てたり、考察したりする場面で、自分の考えを書いたり、表現したりする時間を確保する。

【補足的な取組】

博物館や科学センター(スペースラボ)などの施設を利用した学習活動を計画する。

3 学習状況調査結果



(1)学習状況調査結果

～「学びの育ち」と「心の育ち」の更なる成長に向けて～

児童生徒質問紙から、「学びの育ち」と「心の育ち」に関連の深い質問事項を選び、子どもたちの質問に対する回答状況を数値化し、指標としています。

		質問項目
学びの育ち	学校での学習	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
		授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた
		授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた
		授業では、自分の思いや考えをもとに、新しいものを創り出す活動を行っていた
		授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた
		学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
		学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
		総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる
	家庭等での学習	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます)
		学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)		
ICTの活用	5年生(1,2年生)のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか	
	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	
読書	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)	
	読書は好きですか	
心の育ち	学校の楽しさ	学校に行くのは楽しいと思う
		人と違う意見について考えるのは楽しい
		友達と協力するのは楽しい
	自尊感情	自分には、よいところがあると思う
		先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う
		人の役に立つ人間になりたいと思う
	生活習慣	朝食を毎日食べている
		毎日、同じくらいの時刻に寝ている
		普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)
※「1時間以下」と回答した割合		

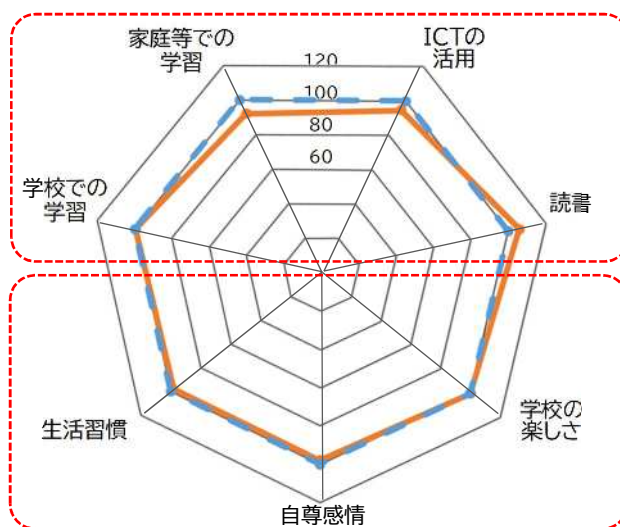


令和4年度 本市と全国との比較

【小学校】

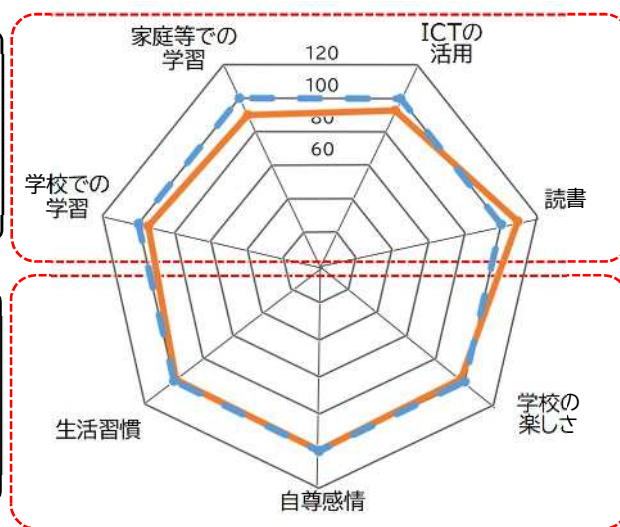
—●— 北九州市 —●— 全国

【中学校】



学びの育ち

心の育ち



全国の平均を100としたときの北九州市の割合

「学びの育ち」について

<読書について>

○「学校の授業以外に普段1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか」では、小・中学校ともに全国を上回っている。「読書は好きですか」では、小学校は全国平均を若干上回り、中学校は同程度となっている。

<家庭での学習について>

○「授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間勉強を読みますか」では、小・中学校ともに全国平均を下回っている。

<ICTの活用について>

○「授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」については、小・中学校ともに全国平均を若干下回っている。「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」が、小・中学校ともに全国平均と同程度となっている。

「心の育ち」について

<学校の楽しさについて>

○「学校に行くのは楽しいと思う」については、小・中学校ともに全国平均と同程度であり、昨年度よりも肯定的な回答の割合が小・中学校ともに増加している。

<自尊感情について>

○「自分にはよいところがある」については、小・中学校ともに全国平均と同程度であり、昨年度よりも肯定的な回答の割合が小・中学校ともに増加している。

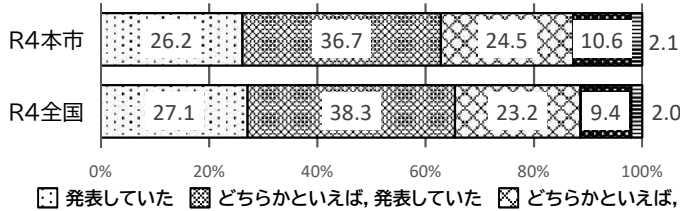
(2) 学びの育ち【学校での学習について】

～児童生徒質問紙より～

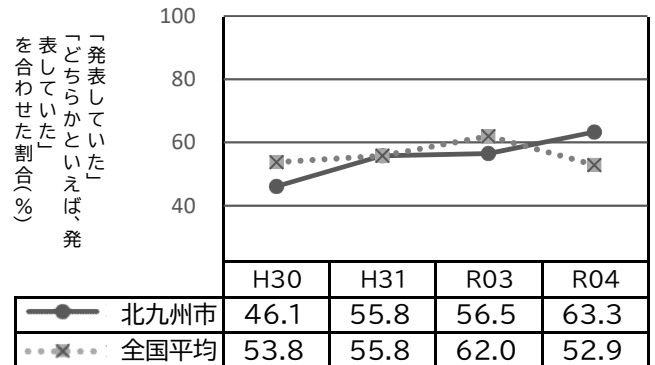
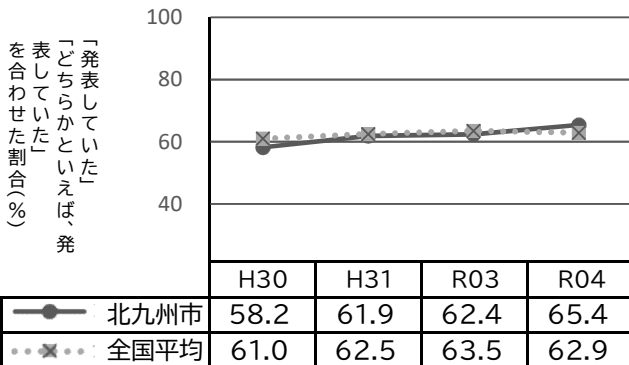
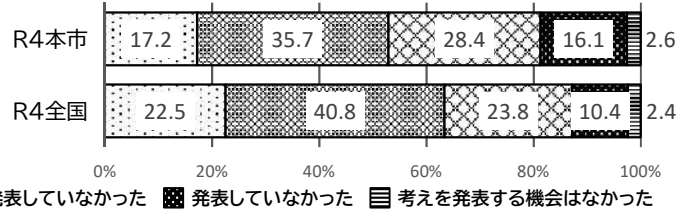
児童生徒質問紙から、「学びの育ち」に関する深いデータを示しています。(無回答, その他を除く。)

質問38 「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」

【小学校】



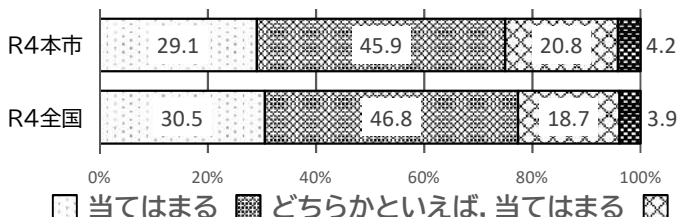
【中学校】



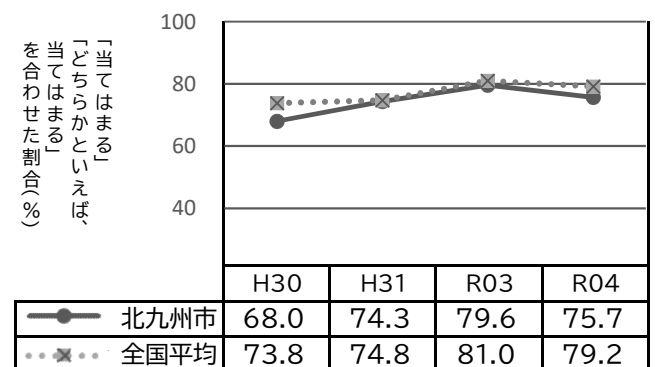
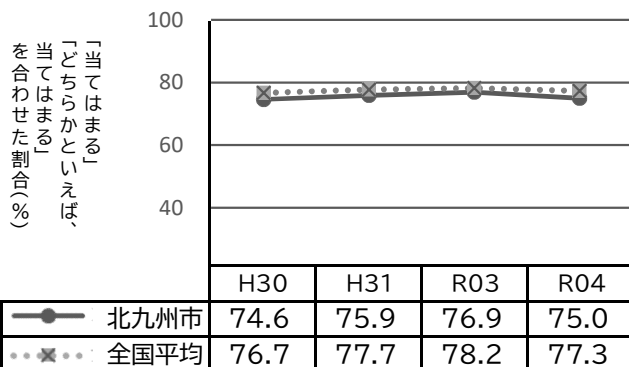
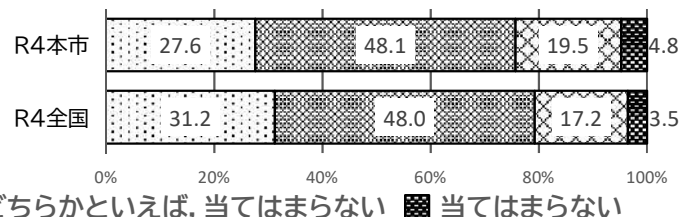
「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」について、肯定的な回答をした割合は、小学校では全国平均と同程度となり、中学校では全国平均を上回っている。

質問39 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」

【小学校】



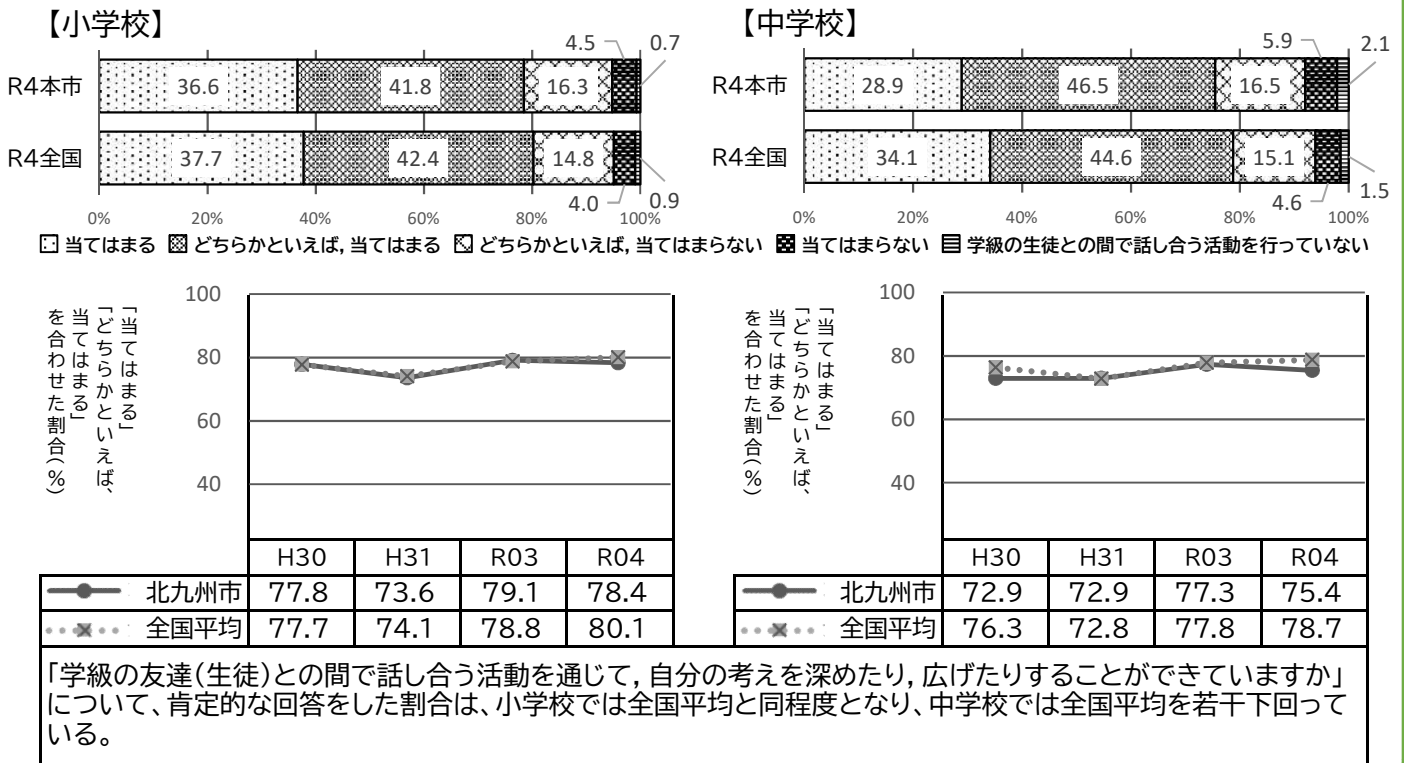
【中学校】



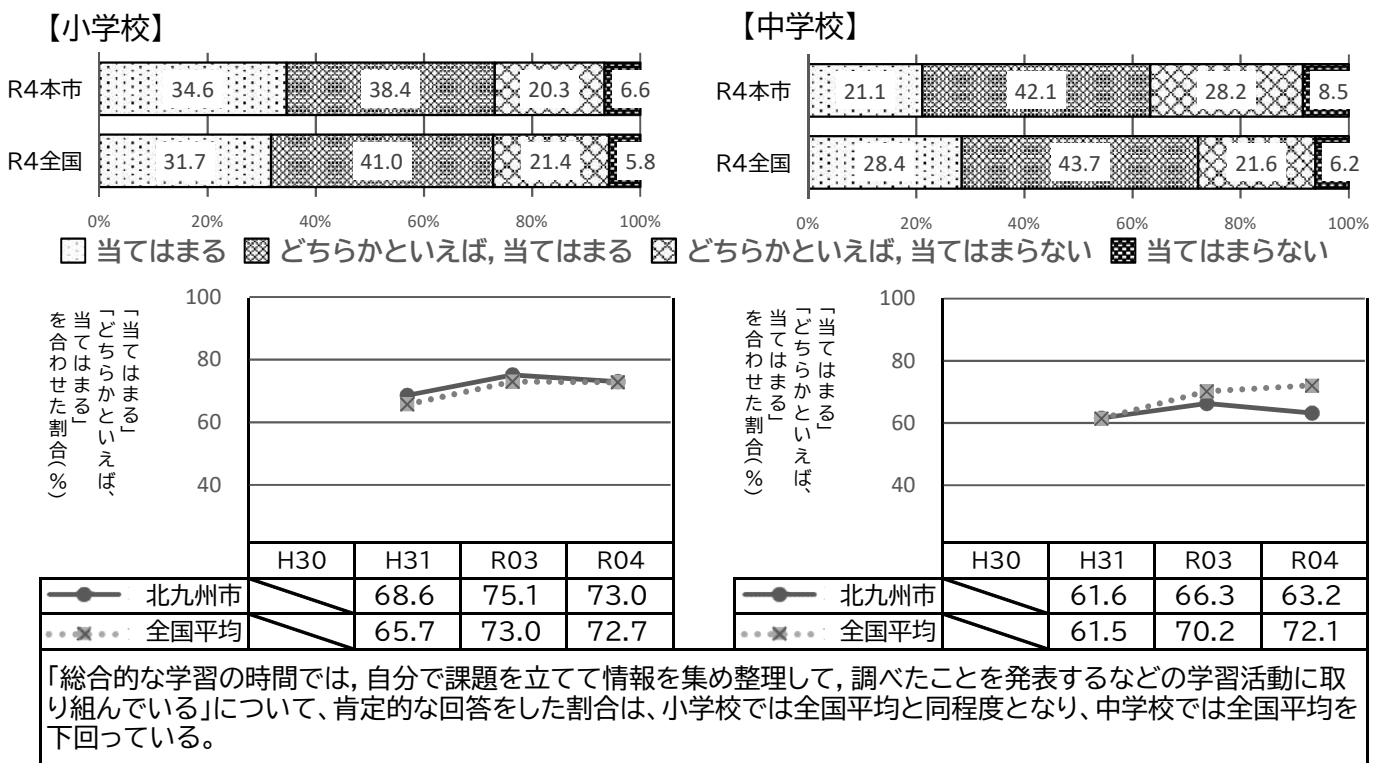
「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」について、肯定的な回答をした割合は、小学校では全国平均と同程度となり、中学校では全国平均を若干下回っている。

児童生徒質問紙から、「学びの育ち」に関係の深いデータを示しています。(無回答, その他を除く。)

質問43 「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」



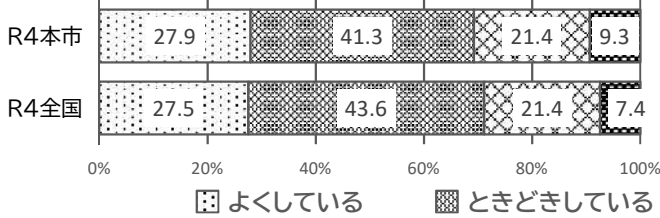
質問45 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」



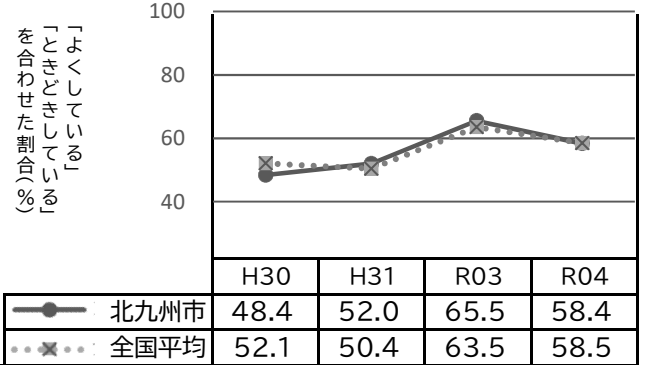
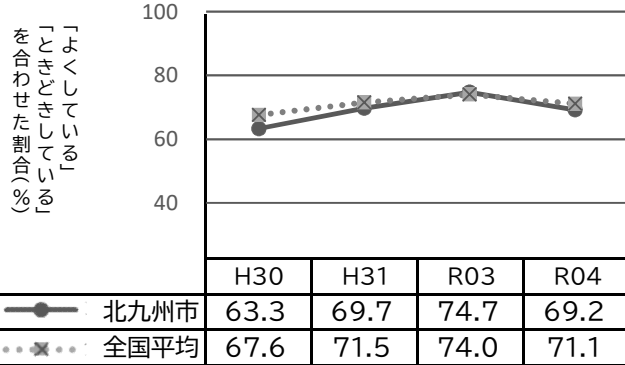
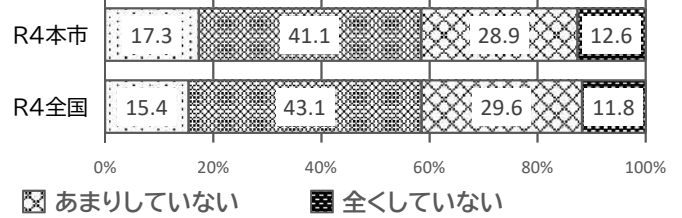
児童生徒質問紙から、「学びの育ち」に關係の深いデータを示しています。(無回答, その他を除く。)

質問20 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」

【小学校】



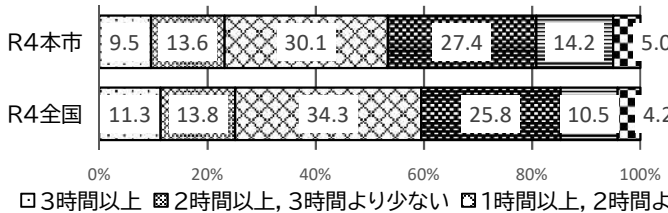
【中学校】



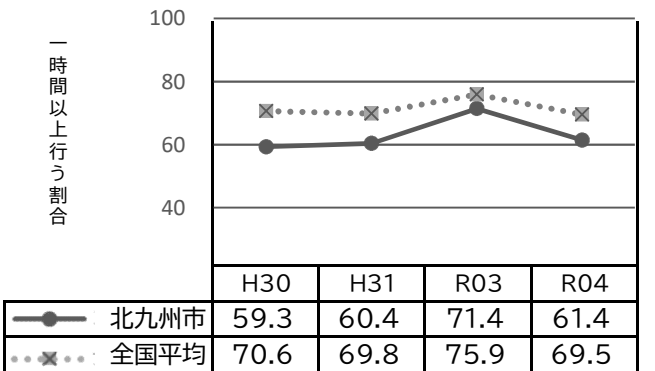
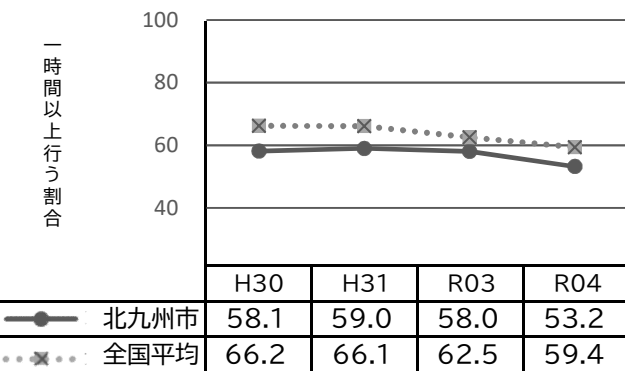
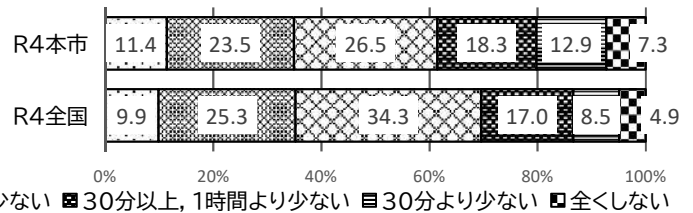
「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」について、肯定的な回答をした割合は、小・中学校ともに全国平均と同程度である。

質問21 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間, インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」

【小学校】



【中学校】

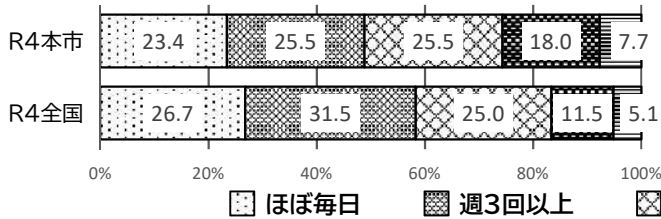


「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間, インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」について、「1時間以上勉強している」と回答した割合は、小・中学校ともに全国平均を下回っている。

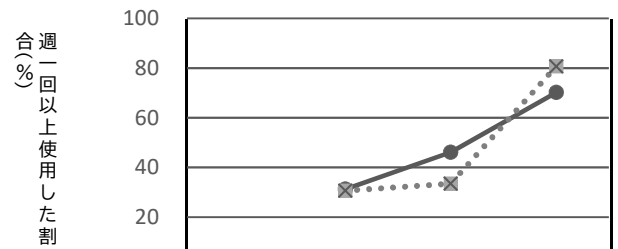
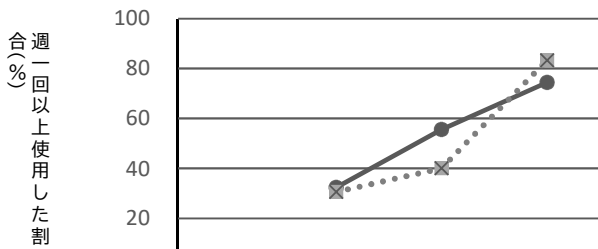
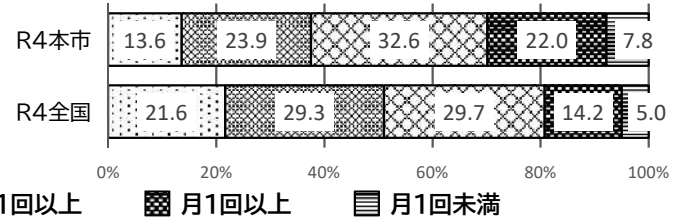
児童生徒質問紙から、「学びの育ち」に關係の深いデータを示しています。(無回答, その他を除く。)

質問32 「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」

【小学校】



【中学校】

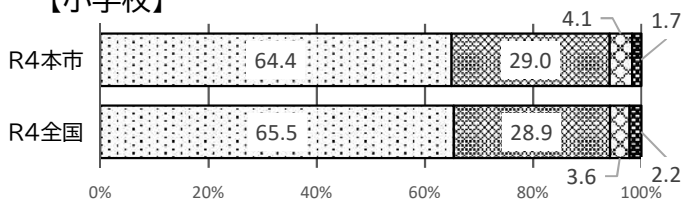


年度	北九州市 (%)	全国平均 (%)
H30	32.4	30.6
H31	55.6	40.1
R03	55.6	40.1
R04	74.4	83.2

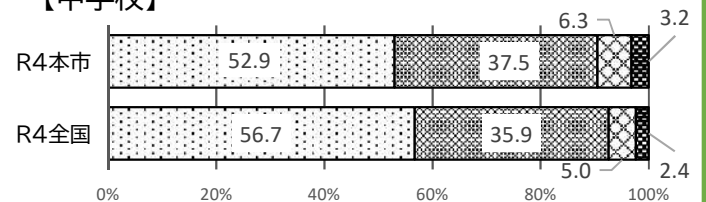
「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」について、「週1回以上使用した」と回答した割合は、小・中学校ともに全国平均を下回っている。

質問36 「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」

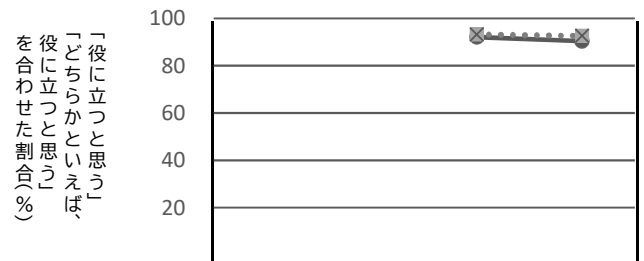
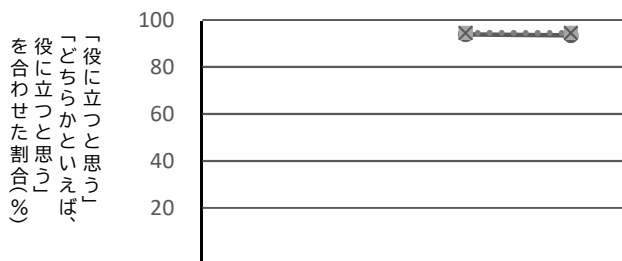
【小学校】



【中学校】



□ 役に立つと思う ■ どちらかといえば、役に立つと思う ▨ どちらかといえば、役に立たないと思う ▩ 役に立たないと思う



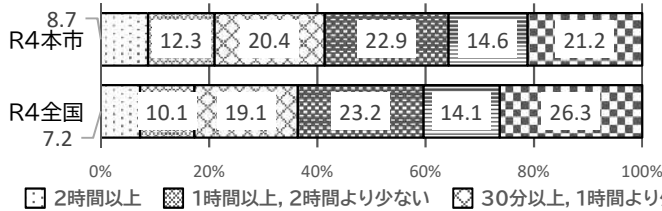
年度	北九州市 (%)	全国平均 (%)
H30	93.8	94.5
H31	93.4	94.4
R03	93.8	94.5
R04	93.4	94.4

「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」について、肯定的な回答をした割合は、小・中学校ともに全国平均と同程度である。

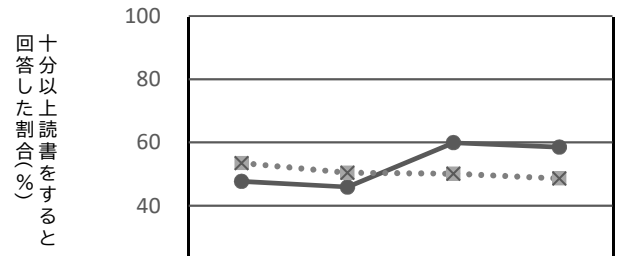
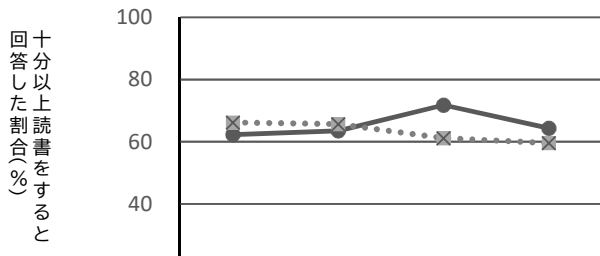
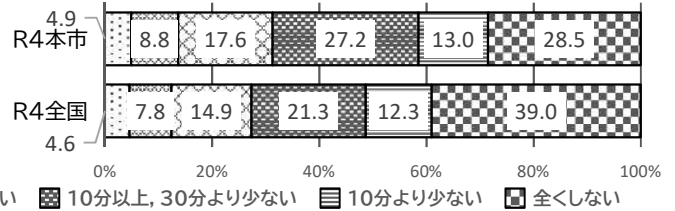
児童生徒質問紙から、「学びの育ち」に關係の深いデータを示しています。(無回答, その他を除く。)

質問23 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書, 漫画や雑誌は除く)」

【小学校】



【中学校】



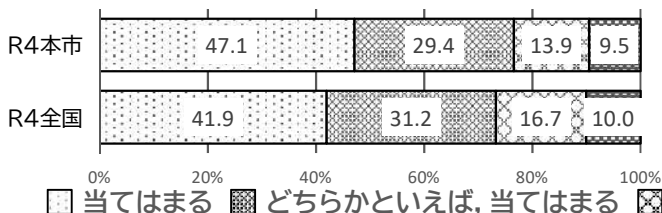
	H30	H31	R03	R04
● 北九州市	62.3	63.5	71.8	64.3
●×● 全国平均	66.2	65.7	61.2	59.6

	H30	H31	R03	R04
● 北九州市	47.7	45.9	59.9	58.5
●×● 全国平均	53.5	50.4	50.1	48.6

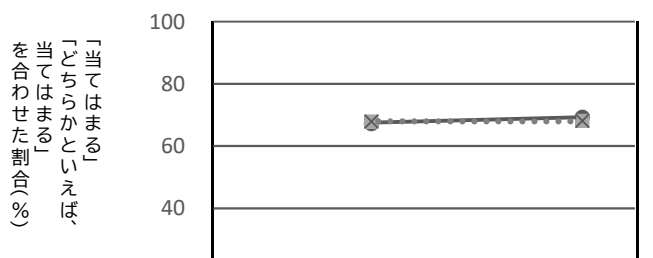
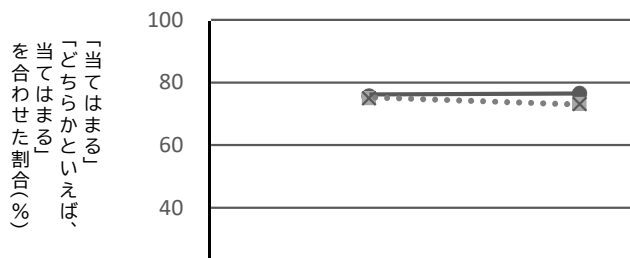
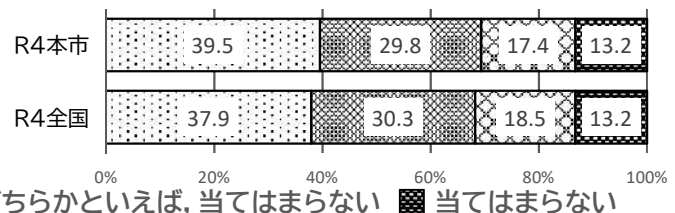
「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書, 漫画や雑誌は除く)」について、「10分以上読書をする」と回答した割合は、小学校では全国平均を若干上回り、中学校では全国平均を上回っている。

質問26 「読書は好きですか」

【小学校】



【中学校】



	H30	H31	R03	R04
● 北九州市	75.7	75.7	76.5	76.5
●×● 全国平均	75.0	75.0	73.1	73.1

	H30	H31	R03	R04
● 北九州市	67.2	67.2	69.3	69.3
●×● 全国平均	68.0	68.0	68.2	68.2

「読書は好きですか」について、肯定的な回答をした割合は、小学校では全国平均を若干上っており、中学校では全国平均と同程度である。

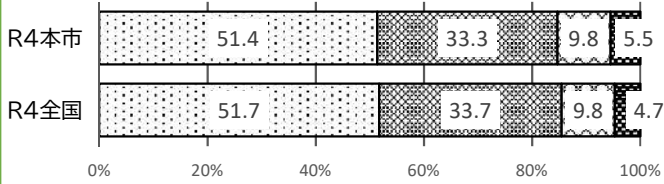
(3)心の育ち【学校での楽しさについて】

～児童生徒質問紙より～

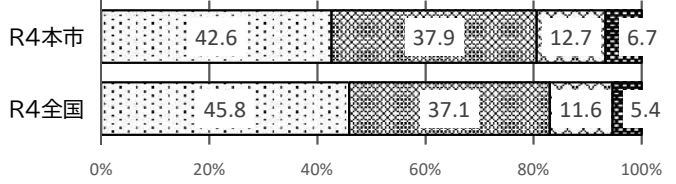
児童生徒質問紙から、「学びの育ち」に關係の深いデータを示しています。(無回答,その他を除く。)

質問16 「学校に行くのは楽しいと思う」

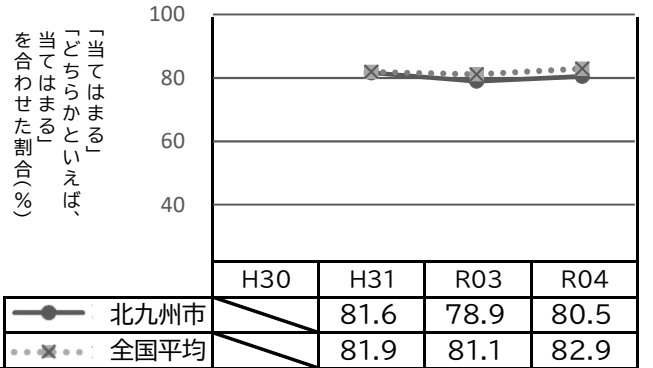
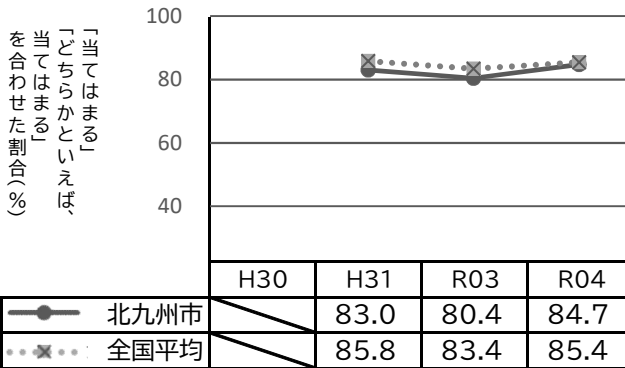
【小学校】



【中学校】



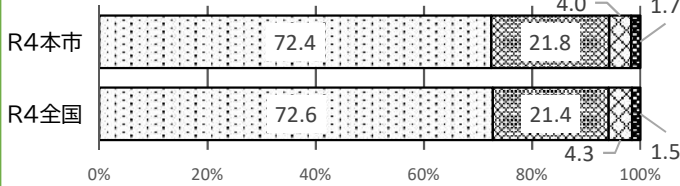
□ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない



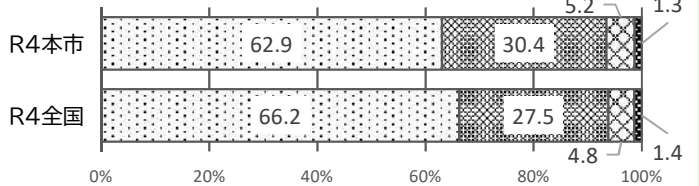
「学校に行くのは楽しいと思う」について、肯定的な回答をした割合は、小・中学校ともに全国平均と同程度である。

質問18 「友達と協力するのは楽しい」

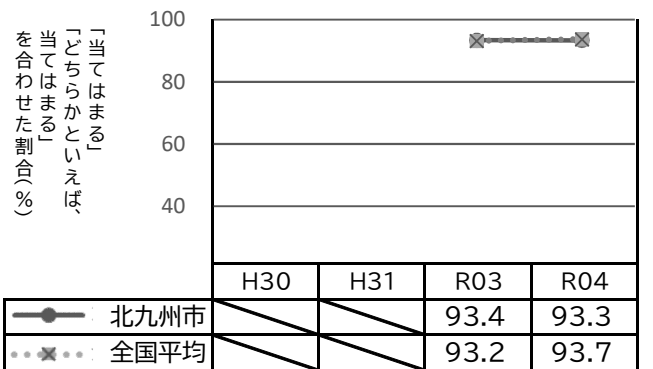
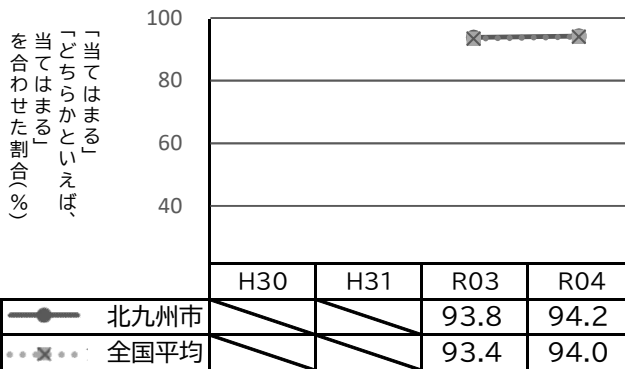
【小学校】



【中学校】



□ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない

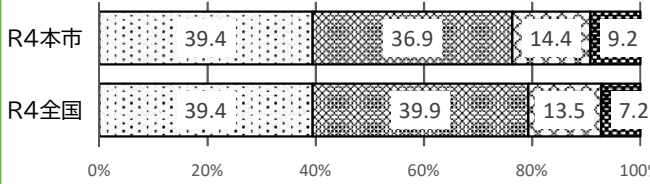


「友達と協力するのは楽しい」について、肯定的な回答をした割合は、小・中学校ともに全国平均と同程度である。

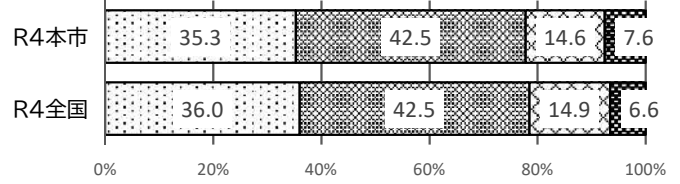
児童生徒質問紙から、「学びの育ち」に關係の深いデータを示しています。(無回答, その他を除く。)

質問7 「自分には、よいところがあると思う」

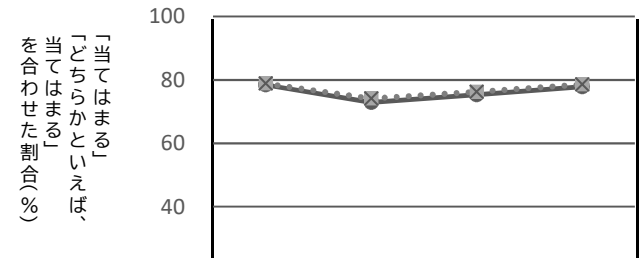
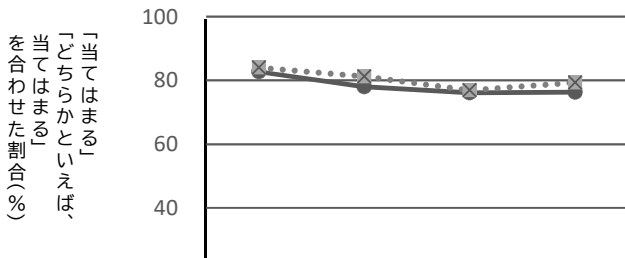
【小学校】



【中学校】



□ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



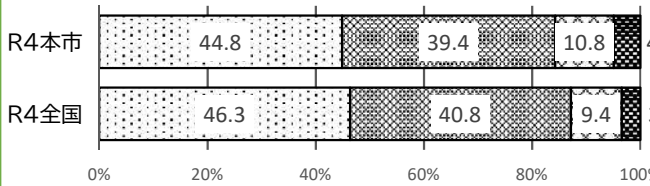
	H30	H31	R03	R04
● 北九州市	82.7	78.0	76.1	76.3
●×● 全国平均	84.0	81.2	76.9	79.3

	H30	H31	R03	R04
● 北九州市	78.4	72.9	75.3	77.8
●×● 全国平均	78.8	74.1	76.2	78.5

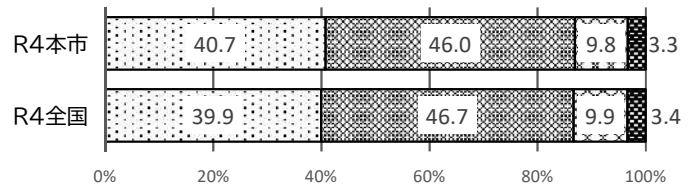
「自分には、よいところがあると思う」について、肯定的な回答をした割合は、小学校では全国平均を若干下回り、中学校では全国平均と同程度である。

質問8 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」

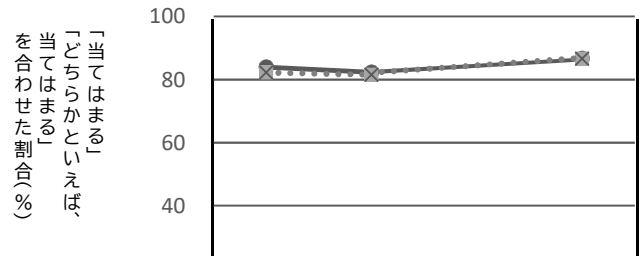
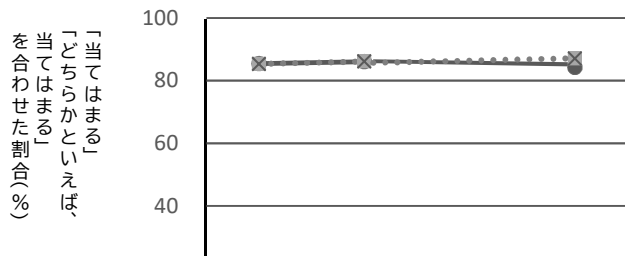
【小学校】



【中学校】



□ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



	H30	H31	R03	R04
● 北九州市	85.4	86.0	84.2	84.2
●×● 全国平均	85.3	86.1	87.1	87.1

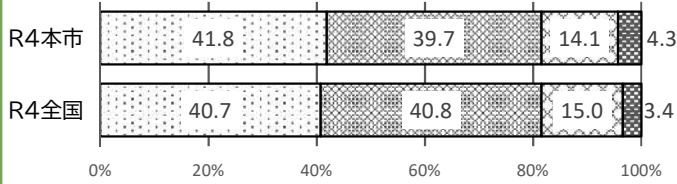
	H30	H31	R03	R04
● 北九州市	83.9	82.3	86.7	86.7
●×● 全国平均	82.2	81.5	86.6	86.6

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」について、肯定的な回答をした割合は、小・中学校ともに全国平均と同程度である。

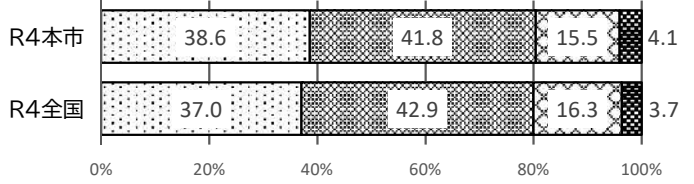
児童生徒質問紙から、「学びの育ち」に關係の深いデータを示しています。(無回答, その他を除く。)

質問2 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」

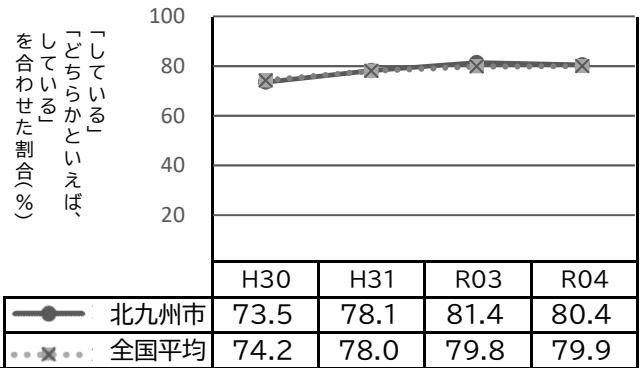
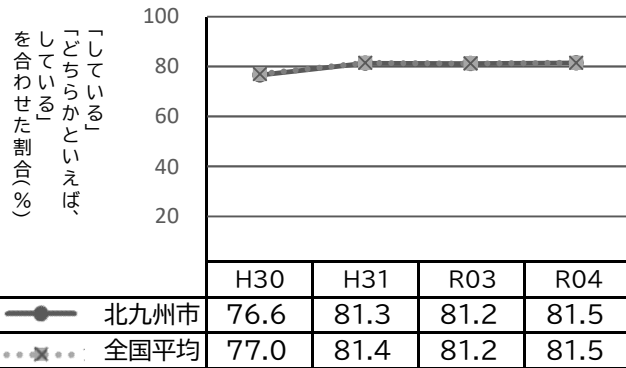
【小学校】



【中学校】



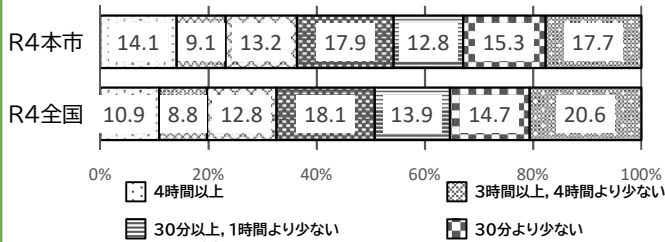
□ している □ どちらかといえば、している □ あまりしていない □ 全くしていない



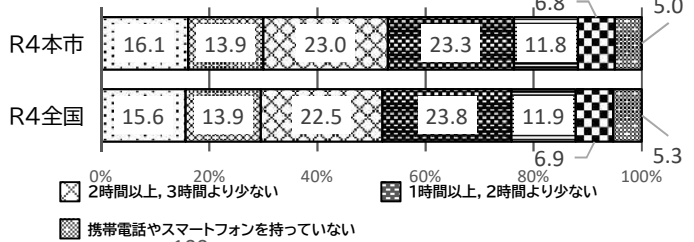
「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」について、肯定的な回答をした割合は、小・中学校ともに全国平均と同程度である。

質問6 「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)」

【小学校】



【中学校】



「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)」について、「1時間以上する」と回答した割合は、小学校では全国平均を若干上回り、中学校では全国平均と同程度である。
※この項目は、数値が少ない方がよい

4 今後の取組



【柱1】

全校体制でのPDCAサイクルの確立

スクールプランの策定・実施・検証・改善

- 「学校力向上支援訪問」の実施。校長の描くビジョン、学校マネジメントへの支援や助言。
→PDCAサイクルを意識した取組の推進。
- 「北九州市学力状況調査」「全国学力・学習状況調査」後の分析研修の実施。
→児童生徒の学力の実態を把握。授業改善に生かすサイクルの確立。

管理職・ミドルリーダーによる学校マネジメント

- 本市人材育成基本方針に基づいた効果的なOJTの一層の推進を図るための研修等の実施。
→教員相互の質の高い教育体制による経験やスキルの着実な定着。



【柱2】

指導力向上のための
日々の継続的な取組

授業改善への意識の向上

- リーディング校公開授業や授業づくり研修。
→『わかる授業』づくり5つのポイントを意識した授業づくりの推進。
- 探究的な学びのある授業への転換。
→主体的に課題を発見、解決する力の育成。

教員の指導力向上に向けた具体的な支援

- 指導主事やメンタリング教員の指導助言。
→教員の授業力向上。
- ICTを活用した授業づくりの推進と教員の指導力向上。
→GIGA端末を効果的に活用した授業の質の向上。

学校図書館教育の充実

- 学校図書館と公共図書館の連携の推進。
→児童生徒の読書活動の推進。
- 学校図書館の環境整備の推進。
→「学習センター」「情報センター」としての活用の充実。

【柱3】

小中9年間を見通した、
児童生徒一人一人への
きめ細やかな教育体制の確立

補充学習の研究推進

- 学びチャレンジリーディングスクール補充学習推進校の実践発表の実施。
→持続的・継続的な補充学習システムの構築。
- 学校の補充学習体制の構築とひまわり学習塾の充実。
→中学校数学科を始めとする各教科の基礎的・基本的な内容の更なる定着。

GIGA端末を活用した補充学習

- 学校導入のドリルアプリの活用の推進。
→個別最適な学びによる基礎基本の定着。

**北九州ステップアップメソッド(コグトレ)の
取組と研究推進**

- 実践協力校の実践成果を市内に展開。
→認知機能トレーニングによる基礎学力の土台づくり。

学力

○知識及び技能 ○思考力、判断力、表現力等 ○学びに向かう力、人間性等

家庭

家庭と学校の
パートナーシップ

家庭の教育力

- ◇ 望ましい生活習慣
(食生活・生活リズム
メディア接触)
- ◇ 家庭学習習慣の確立

保護者の高い意識・
学校理解

学習・生活習慣の定着

- ◇ 保護者への働きかけ
- ◇ 習慣化に向けての取組

学校

PDCAサイクルの確立
(各学校・学年・学級、個人の経年分析)

校長のリーダーシップ・学校経営

- ◇ 高めあう職員集団づくり
(同僚性、協働性)
- ◇ 校種間の連携

教師一人一人の指導力の向上

- ◇ 「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ◇ 校内の授業改善を推進するための支援
- ◇ 授業改善を支援する校外研修の活用
- ◇ 学習支援教材の活用

児童生徒一人一人へのきめ細かな 教育の確立

- ◇ 「令和の日本型学校教育」の実現
- ◇ 補充学習の充実
- ◇ ICT機器(GIGA端末)の活用
- ◇ 市費講師の活用(少人数、専科指導)

良好な学習環境

- ◇ SDGs教育(質の高い教育をみんなに)
- ◇ 学びの基盤づくり
(いじめ・不登校対策、人権意識に基づく相互理解)
- ◇ 特別な支援を要する児童生徒への対応

地域

地域と学校の
パートナーシップ

地域の教育力

- ◇ 地域生活環境の整備
- ◇ 地域の活性化
- ◇ 学校行事への参画

地域の高い意識・
学校理解

連携・協働の推進

- ◇ 信頼関係の構築
- ◇ 継続性を高める
ための工夫

コミュニティ・スクール(地域とともにある学校)

授業づくり支援体制の強化(各課の連携)、必要な教職員の配置
ハード面(学校施設)や教材(ICT等)の整備

教育行政(教育委員会)



令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書

発行

北九州市教育委員会

次世代教育推進部 授業づくり支援企画課

〒803-8510

北九州市小倉北区大手町1番1号(小倉北区役所内)

TEL 093-582-3447

FAX 093-581-5873